



福本 学

アルコールを飲むと顔が赤くなる人は食道がんになるリスクが高いことは、テレビなどでもとりあげられ、ご存知の方も多いと思います。アルコールからできたアセトアルデヒドを分解するためには必要な酵素ALDH2が足りない人は、顔が赤くなるだけでなく、食道口腔内、喉にがんができるリスクが高いのです。「自分はそんなに大量に酒を飲まないから」、そう思われている方も、1日に日本酒1合、ビールなら430ミリットル、ウイスキーだと65ミリットル

程度を週に5回飲むことで、ALDH2が多い人の5~7倍もがんにかかりやすいと聞けば、他人事ではないでしょう。酒を飲み始めたころは弱くてすぐ赤くなつたが、今はかなり飲めるようになつたという人は、酒量が多い分さらにリスクが高いのです。対策は、飲む量を減らし、機会を減らすことにつきます。そして内視鏡による定期的な検診をお勧めします。

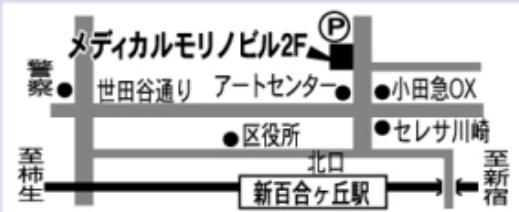
内科

新百合山手福本内科

955-8877

麻生区万福寺6-7-2

メディカルモリノビル2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

お酒で赤くなる人とがんの話